

その他の役利用

ウシの^{えきりよく}役力は、大地を耕したり、物を運んだりする以外にも用いられています。

中華民国（台湾）の切手には、ウシの推進力を歯車で回転運動に換えて、低い水源から水田に水を組み上げる動力として用いている様子が描かれています。同様にエルサルバドルでは、歯車を回すことでサトウキビを搾る装置が、アゾレス諸島では粉を引くための装置が切手の図案となっています。

バチカン市国とトルコの切手では、ウシが犁などの大地を耕す農機具ではなく、平たい板と袋のようなものを引いています。これは、播種後の覆土作業と思われます。人間が行うと大変な作業も、ウシは短時間でこなすことができます。

スワジランドの切手は、天然資源の開発をテーマとするシリーズであり、牛用の^{そり}櫓と記されていますが、何を目的とした櫓なのかは不明です。